

但馬地域の障害福祉施策の推進に関する要望書の提出

～医療的ケア児(者)等の支える通所施設の整備推進に向けて～

3月20日、但馬地域における医療的ケア児(者)・重症心身障害児(者)（以下「医療的ケア児(者)等」）を支える通所施設の整備推進に向けて、但馬地域を代表して豊岡市長が兵庫県知事へ県有地の無償貸付にかかる要望を行った。

1 日時

3月20日(月) 午後4時30分～午後4時50分

2 場所

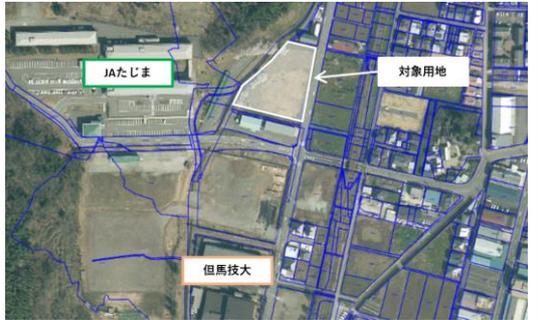
兵庫県庁知事応接室(2号館6階)

3 要望の経緯

医療的ケア児(者)等は、但馬地域に少なくとも100人以上いるが、利用できる施設が少なく、家族は介護のため外出できない、働けないなど非常に厳しい生活を強いられている。そこで、事業用地を確保した上で医療的ケア児(者)等のための施設誘致を行うことが喫緊の課題であると認識していた。

県立但馬技術大学校グラウンド(※)は、今般の特別支援学校統合校の建設予定地及び公立豊岡病院の近接地であり、事業用地として最も相応しいことから、県知事に対して但馬地域の総意として3市2町の首長の連名により、当該土地の無償貸付にかかる要望書を提出した。

《※県立但馬技術大学校グラウンド》

住所	豊岡市九日市上町 518-1	
面積	3,831 m ²	
所有者	兵庫県	

4 要望書

別紙のとおり

5 出席者

【要望者】 関貫市長

【兵庫県】 齋藤 元彦 兵庫県知事、生安 衛 兵庫県福祉部長

【陪席者】 門間 雄司 県議会議員(自由民主党)

藤田 孝夫 県議会議員(自由民主党)

橘 秀太郎 県議会議員(自民党兵庫)

6 知事コメント

当エリアは、但馬地域における福祉交流連携拠点として、整備を進めていきたいと考えており、今回の要望をしっかりと受け止め、県有地の無償貸し付けを前向きに考えていきたい。